

## 大阪大学大学院医学系研究科 助教公募

|         |  |
|---------|--|
| 概要      | 病理学講座（がん病理学）は、2024年度の新規発足に伴い助教2名を採用することになりましたので、募集を行います。   |
| 1. 職名   | 助教   |
| 2. 募集人数 | 2名   |
| 3. 所属   | 大学院医学系研究科 病理学講座（がん病理学）   |
| 4. 勤務場所 | 吹田キャンパス（大阪府吹田市山田丘2-2）  |
| 5. 専門分野 | 腫瘍生物学、分子生物学、遺伝学、病理学、実験動物学など  |
| 6. 職務内容 | <p>2024年4月より新しい病理学講座（がん病理学、PI:井上大地）がスタートしました。2019年に神戸先端医療研究センターで発足した研究室が大阪大学大学院医学系研究科の基幹講座に生まれ変わり「基礎と臨床をつなぐ新しい病理学教室」としてさらに発展できるように、助教の方を2名募集しています。</p> <p>わたしたちの研究室ではこれまでにゲノム変異、クロマチン制御、RNAレベルでの転写後制御（スプライシング、メチル化、輸送）、代謝、細胞死、臓器連関などの観点から、血液がんを中心として発症メカニズムやそれらに基づく治療応用について研究を行なってきました（筆頭および責任著者のものを短縮URLとともに記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Inoue et al. <i>Nature</i>. 2019 (<a href="https://x.gd/NFwY">https://x.gd/NFwY</a>)</li> <li>• Inoue et al. <i>Nature Genetics</i>. 2021 (<a href="https://x.gd/j0kHV">https://x.gd/j0kHV</a>)</li> <li>• Hayashi et al. <i>Cell Reports</i>. 2022 (<a href="https://x.gd/SP959">https://x.gd/SP959</a>)</li> <li>• Tanaka et al. <i>Blood</i>. 2022 (<a href="https://x.gd/kUua9u">https://x.gd/kUua9u</a>)</li> <li>• Nishimura et al. <i>Cancer Sci.</i> 2022 (<a href="https://x.gd/k4wUC">https://x.gd/k4wUC</a>)</li> <li>• Hayashi et al. <i>Int J Hematol</i>. 2023 (<a href="https://x.gd/QSg8q">https://x.gd/QSg8q</a>)</li> <li>• Xiao et al. <i>Nature Communications</i>. 2023 (<a href="https://x.gd/QjBbr">https://x.gd/QjBbr</a>)</li> <li>• Tanaka et al. <i>Leukemia</i>. 2023 (<a href="https://x.gd/NVCbg">https://x.gd/NVCbg</a>)</li> <li>• Nishimura et al. <i>Exp Hematol</i>. 2024 (<a href="https://x.gd/2xnF6">https://x.gd/2xnF6</a>)</li> </ul> <p>大阪大学では、従来の形態学に基づいた病理学とは一線を画した手法で「がんの理を解く研究」を推進していきます。上記の業績は主に血液分野におけるものですが、大阪大学のさまざまなリソースを使いながら、新しいがん研究にもチャレンジしていきます。多細胞システムとしてのがん進展、未知のがん幹細胞の特性、生物進化と発がん脆弱性、CRISPR/化合物スクリーニングを起点とした創薬、単一細胞レベルでの細胞系譜解析や疾患クローンの評価などについても、新技術を用いて行なっていきます。これらの研究は、AMED次世代がん・科研費基盤A・科研費学術変革B・JST-CREST細胞操作・各種民間グラントでサポートされており、研究室で培ってきた技術や生体モデル・国内外のネットワークを活かした教室へと発展させていきたいと考えています。</p> <p>つきまして、大阪大学というトップレベルの研究環境の元、上記内容のいずれかにつ</p> |

|         |   |
|---------|---|
|         | <p>いて精力的にチャレンジしていただける助教 2 名を募集します。助教の先生方には、ご自身の研究に加えて大学院生と一緒に小グループを統率していただき、学部生も含めた教育（着任次年度より大学院講義も含む）を行なっていただく予定です。また、取り組んでいただけるプロジェクトの一つが上記の学術変革 B（ゴーギヤン生物学、領域代表：熊本大学 諸石寿朗教授）および JST-CREST 細胞操作（DNA イベントレコーダー細胞、領域代表：大阪大学 谷内江望特任教授）であれば、持ち込みプロジェクトを遂行していただくことも大歓迎です。わたしたちの研究室では若手研究者のキャリア支援にも注力しており、学振も含めて科研費 12 件・民間グラント 17 件（PI 以外が代表の獲得実績 約 1 億 5 千万円）を取得していただいている。これら科研費・AMED・民間グラントの獲得、ライティング指導だけでなく、論文オーサーシップ、留学先紹介においても最大限のサポートをさせていただきます。助教の次のステップとして独立 PI や海外トップ研究所での留学を検討されている方にフィットする環境を整えています。</p> <p><b>参考資料</b></p> <p>PI 情報 <a href="https://researchmap.jp/nekosuke">https://researchmap.jp/nekosuke</a></p> <p>グラント状況 <a href="https://research-er.jp/researchers/view/699561">https://research-er.jp/researchers/view/699561</a></p> <p>神戸ラボ HP <a href="https://www.fbri-kobe.org/laboratory/research5/">https://www.fbri-kobe.org/laboratory/research5/</a></p> |
| 7. 応募資格 | <p>[必須条件]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 博士の学位を有すること（医学博士である必要はありません）</li> <li>(2) 上記専門分野における十分な研究実績があること（血液学における実績は必須ではありません）</li> <li>(3) 業務遂行に支障のないレベルの日本語・英語の能力があること（講座内での研究発表の一部を英語で行います）</li> <li>(4) 協調的にコミュニケーションをとりながら研究室の発展に尽力できること（チームとして協調性を特に重視しています）</li> <li>(5) 新しい技術を取り入れることを厭わず先進性を有すること</li> </ul> <p>[望ましい条件]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 腫瘍生物学、分子生物学、遺伝学、腫瘍病理学、実験動物学などのいずれか複数に精通していること（すべてを満たす必要はありません。MD だけでなく MD 以外の PhD の方も歓迎いたします）</li> <li>(2) データサイエンス、各種シーケンスデータ解析、シングルセル解析の経験を有すること（2 名の助教のうち 1 名はこちらを重視いたします）</li> <li>(3) 自ら研究を立案でき、グラントを取得する意欲を有すること（次のステップとして海外留学や PI となることを考えている方を歓迎いたします）</li> </ul>  |
| 8. 採用日  | 2024 年 8 月 1 日以降<br>採用者の都合による時期の変更については可能な限り柔軟に考慮します。   |

|               |  |
|---------------|--|
| 9. 契約期間       | 採用日から 3 年<br>※ 雇用契約期間満了後、審査により更新の可能性あり<br>(最長で 10 年間)  |
| 10. 試用期間      | 6 か月   |
| 11. 勤務形態      | 「38. 国立大学法人大阪大学任期付教職員の労働時間、休日及び休暇等に関する規程」による<br><a href="https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html">https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html</a><br>※ 専門業務型裁量労働制適用（みなし労働時間：1 日 8 時間）  |
| 12. 給与及び手当    | 「47. 国立大学法人大阪大学任期付新年俸制教職員給与規程」による<br><a href="https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html">https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html</a>   |
| 13. 社会保険等     | 国家公務員共済組合、雇用保険、労働者災害補償保険に加入  |
| 14. 応募書類      | 応募書類は英語または日本語で記述のこと<br>① 履歴書<br>※ 以下のサイトより、「各種様式ダウンロード」の「教育研究系職用」の応募用履歴書をダウンロードしてお使いください。<br><a href="https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/employment/academic_staff">https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/employment/academic_staff</a><br>② 業績目録（原著論文、解説・総説、著書、特許、国内外の学会発表）<br>③ 主要業績別刷<br>④ 推薦状（1通以上）（推薦者の氏名・連絡先を含める）ただし、提出は必須ではありません。<br>※ なお、応募書類による個人情報は、採用者の選考及び採用後の人事等の手続きを行う目的で利用するものであり、第三者に開示いたしません。<br>※ 応募書類については原則として返却いたしません。 |
| 15. 送付先及び問合せ先 | 応募書類を添付の上、下記の E-Mail アドレスまで送付ください。<br>※ 件名を「病理学講座（がん病理学）助教応募」とすること<br>※ 添付ファイルにはセキュリティ対策を十分に施したうえで添付ファイルを送付すること<br><b>【問い合わせ先・応募書類提出先】</b><br>〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2<br>大阪大学大学院医学系研究科 病理学講座 がん病理学<br>教授 井上大地<br>E-mail: d-inoue@patho.med.osaka-u.ac.jp<br>必ず、d-inoue@fbri.org を CC してください  |
| 16. 応募期限      | 2024 年 6 月 10 日（月）必着<br>ただし、候補者が決定次第、締め切ります。   |
| 17. 選考方法      | 書類選考後、面接を実施する予定です。   |

|         |  |
|---------|--|
| 18. その他 | <p>上記の他の労働条件については国立大学法人大阪大学任期付教職員就業規則等によります。<a href="https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html"><u>https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/information/joho/kitei_shugyou.html</u></a></p> <p>以上の労働条件等については、本採用情報掲載時点のものであり、変更の可能性があります。</p> <p>大阪大学では、「大阪大学ダイバーシティ &amp; インクルージョン (D&amp;I) 推進宣言」・「大阪大学『性的指向(Sexual Orientation)』と『性自認(Gender Identity)』の多様性に関する基本方針」のもと、誰もが学びやすく働きやすいダイバーシティ環境実現のため、取組を強化しています。</p> <p><a href="https://www.di.osaka-u.ac.jp/"><u>https://www.di.osaka-u.ac.jp/</u></a></p> <p>※ 敷地内原則禁煙</p> |
| 19. 募集者 | 国立大学法人大阪大学   |